

【日光】和泉地区の休耕田約60㌥で地元住民が育てるヒマワリが見頃を迎え、地域の憩いの場所となっている。花を切り取って持ち帰ることができ、12日も次々と見物客が訪れた。

同地区活性化組織「いずみネットワーク」が地元の名物にしようと、雑草が生い茂る休耕田を活用して昨年からの栽培。地域を挙げてヒマワリ畑として整備している。

現在は植えた2品種のうち「ハイブリッドサンフラワー」



休耕田で見頃を迎えたヒマワリ

休耕田のヒマワリ見頃

日光・和泉地区

が満開。あと一週間ほど楽しめ、下旬から「サニーキッズ」が見頃となるという。畑の中を探検できる迷路や休憩テント、見物の脚立を用意して見物客をもてなしている。

畑は今市文化会館近くの平ヶ崎交差点から西約1キロ。同ネットワークの手塚雄一代表（68）は「夏の風物詩として定着させたい」と話している。問い合わせ先090・18889・7883。

（文・写真

杉浦崇仁）